

| | | | | |
|----------|-------------------------------------|---|----|------|
| 科目名 | 産業特論 B (観光産業) Tourism Management | | 選択 | 2 単位 |
| 学期・曜日・時限 | 秋・土・集中※ | - | - | - |
| 担当教員名 | 高井 典子 | | | |
| | 赤堀 浩一郎 | | | |

<講義の概要と目的>

本科目は 21 世紀のリーディング産業と呼ばれる観光産業を取り上げる。現在、我が国がすすめる観光立国政策における柱は訪日観光（インバウンド）の推進である。インバウンドは順調に量的拡大を続ける一方、観光立国実現のためには多様化・高度化する旅行者ニーズを日本各地の観光関連事業者が取り込み、インバウンドの経済効果を地方や中小規模事業者にまで行き渡らせることが必要である。また、従来日本人による国内旅行および海外旅行（アウトバウンド）を主要なビジネスとしてきた日本の観光産業がインバウンドに対応するためには自らの変革が求められている。政府や自治体にとってもインバウンドの受け入れ態勢をいかに整備できるかが課題である。

そこで講義では、現在の観光産業の諸特徴と課題を整理したうえで、インバウンドに関わる各種のケーススタディを通して、観光立国を実現するための実践的手法を考察する。

受講者は本科目を履修し、必要な学習課題に取り組むことにより、以下の<学習到達目標>を達成することが期待される：

1. 観光産業および観光商品の特徴と課題を理解する。
2. 観光が国や地域社会にもたらす各種の影響を踏まえたうえで、地域でインバウンドに取り組む際に重要となる考え方について理解し、その実践過程における課題を認識し、解決のためのアプローチを考えることができる。
3. インバウンド観光の商品づくりの特徴と課題を理解し、自ら提案することが出来る。
4. 観光産業における体系的なマネジメント分析の方法を理解し、更には課題について解決のためのアプローチを考えることが出来る。

<講義計画>

1 週目 観光産業へのイントロダクション①（担当：赤堀）

- 観光産業の現状と課題について

2 週目 観光産業へのイントロダクション②（担当：赤堀）

- 各業界別トレンドについて（旅行業界）

3 週目 観光産業へのイントロダクション③（担当：赤堀）

- 各業界別トレンドについて（宿泊業界、航空業界）

4 週目 地域づくりとしての観光（担当：高井）

- 観光が地域にもたらす各種の影響について

5 週目 地域におけるインバウンド振興①（担当：高井）

- 「地域」の観光資源はどこにあるか？

6 週目 地域におけるインバウンド振興②（担当：高井）

- 「地域」のターゲットとコンセプトは何か？

7 週目 インバウンド産業概論①（担当：赤堀）

- インバウンドの現状と課題について（国の視点）

| |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8 週目 インバウンド産業概論②（担当：赤堀） |
| ● インバウンドの現状と課題について（地域の視点） |
| 9 週目 インバウンド産業概論③（担当：赤堀） |
| ● インバウンドの現状と課題について（訪日客の視点） |
| 10 週目 インバウンドビジネスマネジメントスタディ①（担当：赤堀） |
| ● インバウンドビジネスの導入ステップと改善サイクル |
| 11 週目 インバウンドビジネスマネジメントスタディ②（担当：赤堀） |
| ● ケーススタディ（ビジネス客向けの観光サービス） |
| 12 週目 インバウンドビジネスマネジメントスタディ③（担当：赤堀） |
| ● 先進事例スタディ |
| 13 週目 受講生によるプレゼンテーションと講評（担当：高井・赤堀） |
| ● グループプロジェクトの発表（インバウンド観光商品の提案） |
| 14 週目 受講生によるプレゼンテーションと講評（担当：高井・赤堀） |
| ● グループプロジェクトの発表（インバウンド観光商品の提案） |
| 15 週目 受講生によるプレゼンテーションと講評（担当：高井・赤堀） |
| ● グループプロジェクトの発表（インバウンド観光商品の提案） |
| <講義の進め方> 講義とケーススタディを組み合わせる。ケーススタディではグループ討論および全体討論を行うので、事前に配布する資料を必ず読んでから講義に参加してください。 |
| <教科書及び教材> 訪日観光の教科書（高井典子・赤堀浩一郎著、創成社） |
| <参考書> 適宜講義内で紹介します。 |
| <成績評価方法> 欠席 6 回以上は成績評価しない。 期末個人レポート 40%（20%×2）、期末グループプロジェクト 30%、事前課題 20%（10%×2）、講義への貢献度 10%（講義中の発言、討論への貢献度、コメントカードの内容の総合評価） 上述の<学習到達目標>の到達度を個人レポートで問う。評価ランクの基準は次のとおり。 A) 講義に積極的に参加し、学習到達目標を十分達成し、かつ特に優れたレポートを提出している。 B) 講義に積極的に参加し、学習到達目標を十分達成し、かつ優れたレポートを提出している。 C) 講義に参加し、学習到達目標はほぼ達成しているが部分的に十分とはいえないところがある。 D) 講義に参加し、学習到達目標に十分達成しているとはいえないが、部分的に達成しているところがある。 F) 講義への参加度は最低限のレベルであり、かつ、学習到達目標を達成していない。 |
| <履修条件> 留学生の方へ⇒多くのケース資料を読み、毎回講義中の発言を求めるので、十分な日本語力があることが必要です。 |
| <DVD による視聴> 可 |
| <オフィスアワー> 非常勤のため随時 e-mail にて連絡下さい。期末プレゼン等、全般については赤堀まで連絡下さい。 |
| <その他> 毎回の講義でグループおよびクラス討論を行いますので積極的な姿勢で講義に臨んで下さい。 |

| | | | |
|------------|----------|-----------|----------|
| ※10月14日（土） | 2限、3限、4限 | 10月28日（土） | 2限、3限、4限 |
| 11月11日（土） | 2限、3限、4限 | 11月25日（土） | 2限、3限、4限 |
| 12月9日（土） | 2限、3限、4限 | | |